

# 金ケ崎町のまちづくり

まちづくりの将来像

人と地域が支えあうまち 金ケ崎  
～笑顔で快適に住み続けられる町の実現～

## 第十一次金ケ崎町総合計画（令和3年度～令和12年度）

町民参画による計画づくり、人口減少・少子高齢化に対応する計画づくりなどを基本的な考え方に据え、金ケ崎町のまちづくりに係る最上位計画として令和3年に策定されました。

住民

生活環境の向上

政策推進のための視点

- 男女共同参画の推進
- 多様な人材の活躍推進
- 地域協働の推進

### 4つの基本目標

#### 1. 生活環境

快適で安全・安心な暮らしと環境にやさしいまち

#### 2. 健康福祉

いきいきと健やかに暮らせるまち

#### 3. 産業

産業の振興で活力のあるまち

#### 4. 教育文化

未来へつなげる豊かな心を育てるまち



教育の向上

健康福祉の向上

産業の振興

### 3つの重点プロジェクト

1. 若者が夢・希望を持てるまちを創る  
《光り輝く若者プロジェクト》
2. 女性にとって魅力的なまちを創る  
《女性応援プロジェクト》
3. 活力と特色のある地域を創る  
《元気な地域プロジェクト》

地域力

自助・互助・共助

行政との協働

ここからは「第十一次金ケ崎町総合計画」の概要と、4つの基本目標に沿った町の取り組みや、まちづくりの課題や未来について紹介していきます。



# 生活環境

防災力を高め安全・安心な生活環境の確保と、恵まれた自然環境への配慮など、人と環境にやさしいまちづくりを進めます。

## 定住促進



Uターン、Iターンを促し町内への定住を図るため、住宅の取得に関するサポート制度を用意しています。マイホームを建てる際に融資を受ける方への補助金や、住宅の改修・増築工事の費用に関する住宅リフォーム補助金なども用意しています。



## 空き家対策



古民家が交流施設として生まれ変わった「永(とこしえ)」の空き家活用事例のように、空き家の利活用を促進するための補助金を用意しています。そのほか空き家の管理不全を抑制するための意識醸成の取り組み、危険な空き家の解体などを促進していきます。

## 道路の維持管理・新設



生活環境の利便性向上や安全・安心で円滑な道路交通を確保するため、道路の舗装や修繕を行うほか、新たな路線の整備を行っています。



## 公園管理事業



森山総合公園などの町内の都市公園等について、利用者の安全・安心を確保しながら自

然とのふれ合いや交流、賑わいを生み出す場所として整備を進めます。



## 除排雪対策



安全・安心な道路環境の維持のため、降雪量に応じた除排雪や除雪機械等の整備を行ってきました。GPSなどを活用した効率的な除雪も行っています。



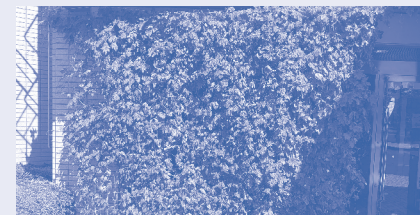
金ヶ崎町に移住しませんか？  
若者への家賃補助から住宅を建てる時の補助など継続的に支援が受けられるほか、子育て環境も良いと評判です！



## ちょうみんグリーンアクション



地球温暖化対策事業として、身近な明かりを消して省エネに取り組む「ライトダウンかねがさき」や、ゴーヤ苗のグリーンカーテンなどの「ちょうみんグリーンアクション」の普及や、町施設の二酸化炭素排出量の管理を行っています。



自分たちでできること、みんなで始めよう

ちょうみん  
グリーンアクション



## 生物多様性かねがさき地域戦略



「岩手県レッドデータブック」で絶滅が危惧されているマツムシソウ。その県内唯一の自生地である金ヶ崎町では、地域住民と町とが協力し



「安全安心鍵かけモデル地区」に指定されていた金ケ崎町。町民の防犯意識も高く、窃盗や空き巣などの犯罪がとてまもなく減っています！



除草剤不使用のための草刈りを行うなど、保全活動に取り組んでいます。



を通して自分たちの地域を知り、守る意識が生まれています。



## 運転免許証の自主返納促進



交通安全の啓発活動の一環で、運転免許証を自主返納した70歳以上の町民に「交通安全サポーターズチケット」として、1万円分のタクシー乗車チケットを交付しています(交付年度内有効)。平成29年度の制度開始以降、自主返納する町民が増えています。



## 地域防災マップの作成



近年全国各地で被害をもたらす自然災害に対し、「自分の命は自分で守る」という町民の防災意識の啓発が重要です。町内43地区すべての自主防災組織ごとに地域防災マップの作成に取り組んでおり、自主防災組織向け研修会等

考えてみよう！



## 「生活環境」

笑顔で快適に住み続けられるまちの実現のために、金ケ崎町のまちづくりの課題や、未来のまちの様子について考えてみましょう。

### 課題テーマ 1

火災や災害に対応するために必要なことは？

火災のみならず、地震、洪水、大雪といった様々な災害で要となる消防団。金ケ崎町消防団は4分団18部で組織され、約340名の団員が地域の安全を守るため活動しています。人口減少や勤務形態の多様化により、この20年間で消防団員は約60人減少しました。災害時に出動できる団員も少なくなってきており、団員確保が大きな課題となっています。「できる時にできる事を」の気持ちを持って、あなたも消防団活動に参加してみませんか。

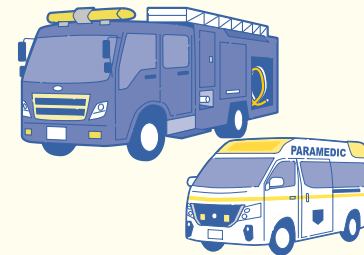


### 課題テーマ 2

空き家が増えてきているけど、どうしたらいいだろう？

町内では約280棟の空き家が確認されています(令和3年度)。今後も高齢化の進行によりさらなる増加が見込まれており、管理が行き届かない空き家は周辺の住環境に悪影響を及ぼします。

家は個人の財産であり、個人の責任により管理すべきものです。金ケ崎町では取り壊しや利活用の補助制度があります。自分の家は将来誰が相続するのか、管理や解体の際の費用はどうするのかなど、日頃から親族で話し合っておくことが大切です。





# 健康福祉

医療・福祉サービスの充実と町民相互の支え合いにより、  
生きがいを持った健やかな生活と安心して子育てができるまちづくりを進めます

金ケ崎町は、医療費助成やファミリーサポート事業など、子育てしやすい環境づくりに幅広く力を入れています。金ケ崎で子育てをしませんか？



## 子育て世代包括支援センター事業



妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をするため、子育て支援課内に「子育て世代包括支援センター」を設置しています。妊娠、出産、子育てに関する相談、情報提供など、安心して過ごせるよう利用者に寄り添いきめ細やかな支援を行っています。



## 産前サポート・産後ケア事業



産前は助産師等が妊婦の体調確認や子育ての相談のために産前サポート訪問を行うほか、助産師や保健師が希望に応じて産後の指導やケアのために訪問する産後ケア事業も実施しています。

## 在宅子育て応援金給付事業



日中家庭で子育てを行っている生後7カ月～3歳未満の子どもの保護者に対して、月5,000円の応援金を給付しています。多様な保育環境を目的とする金ケ崎町独自の子育て支援事業です。



## 子育て支援センター事業



保育施設を利用せず自宅で育児を行っている

る家庭を対象に、子育て中の親子の交流や、専門スタッフへの育児相談、子育て講座などを行っています。家にいるだけでは閉じこもりがちな、保護者同士や子どもたちの交流の場になっています。



## ファミリーサポートセンター事業



子どもの一時預かりや登園送迎などをサポートする事業で、子育てを応援する人とサービスを利用したい子育て家庭が会員登録を行い、会員相互でサポート活動を行っています。保育施設を利用していない人、小学生でも利用が可能です。

## 高校生までを対象にした医療費助成



子育てしやすい環境づくりを目指す金ケ崎町では、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、福祉医療費給付事業の対象者を高校生までに拡大し医療費の助成を行っています。





老人クラブの業務や生活の困りごと対応など、町民と直接お話しすることが多いので、分かりやすく伝わりやすいコミュニケーションを目指しています！



## 出前講座



病気を予防しようという一人ひとりの意識の醸成のため、認知症予防や生活習慣病の予防などについて学ぶ出前講座を、地域の要請に応じて開催しています。



## 訪問診療・訪問看護



高齢化社会に伴い在宅医療へのニーズが高まるなか、病気や障がい、高齢のために通院が困難になった方を対象に、在宅でも医療が受けられるよう診療所や歯科診療所、訪問看護ステーションが連携して訪問診療が行われています。患者の気持ちや家族の心に寄り添い、地域の介護サービスや、中核病院、地域総合病院との関わりも持ちながら、安心できる医療を提供

していきます。



## ゆいっこハウス



社会福祉協議会事業として、元気高齢者促進事業「ゆいっこハウス」を実施しています。介護予防や高齢者の楽しみ、生きがい、社会参加や運動、閉じこもり防止を目的に、町内31団体が様々なイベントや講習会等を開催しています。



# 「健康福祉」

いきいきと健やかに暮らせるまちをつくるために、金ケ崎町のまちづくりの課題や、未来のまちの様子について考えてみましょう。

## 課題テーマ1

「歩く」ことから「健幸」な暮らしを実現！

歩くことにより健康増進を図る「健康ポイント事業」。気軽に参加できて、自分の取組成果がスマートフォンのアプリなどで可視化されたり、歩数等に応じて商品券がもらえるなど、楽しみながら健康な生活習慣を実践できる事業です。運動が億劫だった方や健康に関心がなかった方も、この機会に楽しみながら生活習慣の改善をしてみませんか？



## 課題テーマ2

早期発見！早期治療！

日本人の死因上位3位である「がん・心疾患・脳血管疾患」は3大疾病と呼ばれています。がんの主なリスク要因は喫煙、食品添加物、発がん性物質、ある種のウイルスや細菌、放射線、紫外線などの外部刺激と考えられていますが、このうち、喫煙や食品添加物、発がん性物質などは、自分で避けることができます。

心疾患や脳血管疾患はいずれも動脈硬化から起こります。動脈硬化のリスク要因としては高コレステロール、高血圧、喫煙、糖尿病、肥満、運動不足、ストレスなどがあり、いずれも自分でリスクを下げるができます。日頃の健康意識向上と「早期発見」「早期治療」でいつまでも健康に過ごしたいものです。



# 産業

農業、工業など各産業の振興を地域振興へとつなぎ、豊かな生活と町民所得向上により活力あるまちづくりを進めます。

高校生向けの就職ガイダンスや小中高生向けの工業イベントを通して、地元の企業の魅力を知ってもらおうお手伝いをしています。



## 岩手中部工業団地整備



金ケ崎町の岩手中部工業団地内に新たな企業の誘致を目指した工業用地の整備を行っています。集積が加速化する自動車産業や半導体産業のニーズに応えられる工業用地の整備を進めていきます。



## 商業振興事業



地域商業を次代へつなぐための商工業者の経営支援や商工会の組織強化、地域活性化等の取組を支援しています。

空き店舗活用補助事業や創業塾の開催等による創業支援を行うとともに、令和3年度から意欲ある若者と女性の創業者には、特に補助率を高くて新たに創業を行う場合の経費に対する「創業支援補助金」を創設し、町内創業の

促進と地域商業の活性化を図っています。



## きたかみ・かねがさきテクノ Messe



北上市と共同開催している「きたかみ・かねがさきテクノ Messe」は、小中高生を含めた子どもたちを対象に、次世代を担う子どもたちへの企業理解促進を図ることで人材不足を解消していくための、岩手県内最大の工業イベントとして2年に一度開催されています(令和3年はコロナ禍により延期)。地域企業のものづくりを知り、体験することができる貴重な機会となっています。



## 観光振興事業



観光産業の発展と向上のため、町内の観光資源を生かした体験型観光などの磨き上げを行っています。ツアー造成や観光PRにも力を入れ、温泉施設や飲食店などの観光交通事業者の産業発展に結び付けていくほか、お土産品の開発なども手がけていく予定です。



## 農地利用の最適化



地域農業マスタープランの実践に向けて金ケ崎農業振興地域整備計画に基づく農用地、農業用施設の適正な管理、農地中間管理機構と連携した農地の集約化支援のほか、遊休農地の実態把握と解消に努めています。





新規就農者へのサポート体制が充実している金ケ崎町。野菜、米、酪農など分野を問わず、農業をやってみたいという若い方を大募集中です！



## 農業従事者の確保



新たな農業の時代に対応できる人材を育成していくため、多様な農業経営や新しい農業技術を取り入れられる農業経営者育成のための研修会や技術指導を行っていきます。また、後継者の確保のため事業継承や新規就農が円滑に行えるような環境の整備に取り組んでいきます。



## 農業所得の向上



アスパラガス、きゅうり、ピーマンを重点推進作物に設定し単収向上の取組にかかる経費の一部を補助しているほか、農畜産物の地域ブランドの確立により所得の向上を図ります。また、有害鳥獣による農作物被害の防止にも取り組んでいきます。

## 農業生産基盤の整備



安定的で高収益な農業の確立のために、農作業の効率化を図る機械等の導入支援、スマート農業の推進、農地の多面的な機能を維持するための「多面的機能支援交付金」のほか、農業用水施設の維持やほ場整備事業の支援に取り組んでいきます。

考えてみよう！



# 「産業」

産業の振興で活力のあるまちをつくるために、金ケ崎町のまちづくりの課題や、未来のまちの様子について考えてみましょう。

## 課題テーマ 1

### 金ケ崎が力を入れているアスパラガス！

金ケ崎の農産物といえばアスパラガス！町はアスパラ収穫祭や中央卸売市場でのトップセールス、首都圏の飲食店での取扱い推進などのPRを行いながら生産拡大を進めています。

一方、農家の高齢化や後継者不足の問題もあり、2016年に47トンだった生産量は2020年には20トンとなっています。園芸作物の栽培には多くの労働力が必要です。新たな技術の導入による作業負担の軽減、天候に左右されない施設栽培導入などの取組みが進められています。



## 課題テーマ 2

### のどかなまちだけど、北東北随一の産業集積地です！

岩手中部(金ケ崎)工業団地には、大手自動車メーカーの完成車組立工場が立地している他、医薬品、半導体関連の大手企業及び関連企業が多数立地しています。

2020年工業統計調査においては、金ケ崎町の製造品出荷額等は5,911億円に達しています。町村別の実績では、東北で第5位、北東北3県では第1位の額となっており、隣接する北上市、奥州市と合計すると岩手県全体の額の約半分を占め、東北随一の産業集積地を形成しています。





# 教育文化

町民一人ひとりの学びや取組が、未来そして未来を担う子どもたちの育成へとつながる、豊かな心をそさてるまちづくりを進めます。

金ケ崎町で働いて1年目、優しい先輩職員の働きぶりやチームワークを目標に日々頑張っています！町民に親身に寄り添う職員になりたいです。



## 英語教育



小中学校へのELTの派遣を行い、自然に英語に親しむことで英語力の向上をめざす「学校英語教育事業」に加え、金ケ崎町では保育園や幼稚園にもELTを派遣しています。幼い頃から英語にふれる機会を提供することで子どもたちが英語に慣れ親しみ、これからの国際社会を担う人材の育成をめざし、英語教育を推進しています。



## 教育保育環境の充実



認可保育所・認定こども園・幼稚園・認可外保育施設等を利用する3歳から5歳の子どもの、幼児教育・保育が無償化されていることに加え、金ケ崎町では、保育料及び副食費の第3子無償化を拡充し実施しています。



## ICT教育推進事業



小中学校児童一人1台のタブレットを導入し、ICTを活用した授業を行っています。ICT機器を活用した授業について、教育現場での研修等も進めながら取り組んでいます。

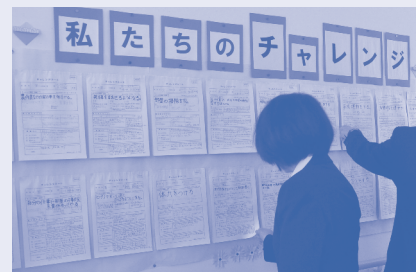
## コミュニティスクール



地域から選ばれた学校運営協議会委員を各学校に配置し、学校の取り組みに対してアドバイスを行うことで地域と学校の信頼関係を深め、連携を強化することで学校運営の改善及び子どもたちの健全育成を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指し取り組んでいます。



## 子どもはげまし制度事業



小学6年生を対象にした「子どもはげまし制度」は、各児童一人ひとりが目標を設定し、目標に向けた取り組みの後にアドバイザーからの評価やはげましを行うことで、自信や誇りを持ち、自立する子どもの育成を目指す制度です。

## 国際交流



金ケ崎町は、中国の長春市、アメリカのアマースト町、ドイツのライネフェルデ・ヴォアビス市の3市町と友好・姉妹都市関係を結び、職員派遣や訪問交流事業を行っています。アマーストへは毎年、中学生の海外研修を実施してきました(令和2、3年度はコロナ禍により休止)。





放課後子ども教室や、中高生のサポート事業を通じて、子どもたちの自主性を育み、町に愛着を持って地域に根づく人材を育成しています。



## 文化財活用事業



国指定史跡の「鳥海柵跡」と「南部領伊達領境塚」、国選定「金ケ崎町城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区(伝建群)」など国の文化財についての講座や学習会を開催し、町内外にPRを行っています。



## 郷土芸能発表大会



毎年11月頃に開催される郷土芸能発表大会では町内の郷土芸能保存団体による鹿踊や剣舞、神楽、田植踊、甚句舞が披露されます(令和2年度・令和3年度はコロナ禍により休止)。町郷土芸能保存会への活動補助金を交付し、保存活動の支援も行っています。

## 生涯教育・生涯スポーツ



令和4年に40回目の記念大会を迎える「金ケ崎マラソン」に代表されるように、楽しく気軽に親しめる生涯スポーツの推進に取り組んでいます。また「生涯教育の町」宣言ではひとりいち学習、ひとりいちスポーツに努めることとしており、生きがいつくりや学習機会の提供、人材教育に重点を置いた取り組みが進められています。

考えてみよう！

# 「教育文化」

未来へつながる豊かな心を育てるまちをつくるために、金ケ崎町のまちづくりの課題や、未来のまちの様子について考えてみましょう。

## 課題テーマ 1

### 少子化と教育施設の老朽化問題

全国的に少子化が進んでいますが、金ケ崎町においても同様です。2015年に2,030人だった年少人口(0~14歳)は、2020年には1,832人になり、この5年間で約200人減少しています。町内には小学校が5校ありますが、子どもの数が減少することは、学校に通う子どもたちも減少するということです。

教育施設の老朽化が進むなか少子化の時代に合わせ、子どもたちの学びの環境はどうあればいいのか、どういった施設規模が望ましいのか、検討を進めなければなりません。



## 課題テーマ 2

### 「生涯教育のまち」金ケ崎

生涯教育を推進する金ケ崎町では、各地域に6つの生涯教育センターを整備し、地域で学ぶことができる環境整備を行ってきました。これまでは趣味的講座を中心に展開してきましたが、社会の変化の速度が増す中、多様な価値観を尊重しながら、各年代において社会の変化に対応していく学びの重要性が高まっています。また、学んだ成果を他者や地域に還元したり、社会活動に参画したりすることができる人材の育成が必要となっています。

